



初等部だより 4月号

鎌倉女子大学初等部  
平成31年4月8日  
第1号

## ご進級おめでとうございます

部長 勝木 茂

心地よい春風と岩瀬キャンパスの桜が咲き誇る中、新年度がはじまりました。変わらない子どもたちの元気な声が初等部全体に響き渡っています。お子様のご進級、誠にありがとうございます。

さて、わたくし勝木茂は4月1日付けで初等部長を命ぜられました。また、前任の高橋正尚部長は、初等・中等統括部長という幼稚部から高等部までを統括する職を命じられました。これまでも増してよりよい初等部経営に努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



本日、1学期始業式を行いました。今年度より全学年、学級編制替えを行うこととしたため、子どもたちにとっては、新しい担任の先生、新しい友だちと一緒に新たな一年間のスタートとなりました。新2年生から新6年生代表児童の「今学期の抱負」からは、新しい学年への期待や意欲を感じることができ嬉しい気持ちになりました。職員一同、改めて気持ちをひとつにして、初等部の子どもたちのためにしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

明日9日（火）には、入学式を行います。新1年生を迎え、新2年生～新6年生まで全員が松本講堂に集い、全初等部生で祝いたいと思っております。

入学式は初等部でのスタートとなります。これから先、いろいろな友だちや先生と出会い、様々な経験を積み重ねる中で大きく成長

する6年間となります。たくましく心豊かに成長してほしいと願います。また、新6年生をはじめとして全ての上級生が、思いやりの気持ちをもって新1年生にやさしく接してほしいと思います。そのことにより、これまで以上に初等部全体が暖かみのある集団になってくれることを期待しています。

さて、本日の始業式でも初等部生に話しましたが、初等部では「豊かなこころ」「確かな学力」「健やかなからだ」を身に付けた品位ある初等部生の育成をめざしています。

その基盤となるのは、日々の一時間一時間の授業です。一時間一時間を初等部生にとって、いかに充実した授業としていくのか、これこそ初等部が最も大切にしていることです。授業は、学力の向上のみならず、こころやかならだの成長にも大きな影響を与えます。

「5時間目の1年生」「授業の残り5分間」「全教科にバランスよく」これらは、初等部の授業を表すキーワードです。ともすると眠くなる昼休み後の5時間目、教師がはつらつと授業をし、1年生であっても活発に発言している姿、授業の残り5分まで工夫された授業、残り5分までしっかりと集中する初等部生の姿、（たとえ5分間であっても5分間×1日6時間×1年間200授業日×6年間＝36000分間（600時間）となり、その積み重ねは大変大きなものとなります。）また、どの教科にもバランス良くとり組むことも大切です。例えば図工の時間に粘り強く作品を完成させることで得た自信は、算数の時間にも必ず生きてきます。どの子にも得意、不得意はあると思います。しかし、全教科に前向きに取り組むことにより培われる「主体的な学習態度」は、これから先の人生にも必ずや役に立ちます。

今年度におきましても、初等部の全職員が「子どもの成長にかかわる仕事をしている」というプライドをもって、日々新鮮な気持ちで臨みたいと考えます。

これまで同様、ご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。